



18

歴史文化のみち東高野

ひがしこうや

●ふるさとの風景にとけこむ道



DATA・BOARD 18

- ①大阪府羽曳野市誉田4丁目1番1号ほか
- ②延長：666m，幅員：3.8～4.2m
- ③案内板、道標ほか
- ④御影石、コンクリートブロック，平板ブロック，鋳物，陶板ほか
- ⑤誉田八幡宮の例祭



東高野街道は、京都市の九条を起点に伏見から枚方、羽曳野、河内長野を経て和歌山県橋本に至るもので、京都から高野山に参詣する道であった。

この東高野街道が羽曳野市内で日本最古の官道である竹之内街道と交差する箇所を中心多くの史跡が残されており、この箇所を「歴史文化のみち東高野」として整備を行った。

整備にあたっては、誉田八幡宮の参道をイメージし、白塀を強調させるために御影石を敷設しており、門前においては全面に敷設した。モニュメントは、江戸時代後期に建てられた道標を取り囲み、高野山を描いたものを設けたほか、江戸時代中期に制作された河内名称絵図をもとにつくった案内板を道路脇に設置し、歴史の道を演出している。